



社会を明るくする運動・青少年健全育成推進大会で行われた意見発表会

笑顔あふれる

まちづくりを推進

町制55周年記念事業

- オアシスタを新調 -

町制施行五十五周年を記念して、「オアシスタ」を新調しました。「オアシスタ運動をすすめ、笑顔あふれるまちをつくりまします」町民憲章の一文に掲げられているように阿久比町では、昭和五十四年から町全体でオアシスタ運動を継続しています。

朝のあいさつ「おはようございます」。心から感謝「ありがとう」。誰にでも「しんせつに」。すなおに「すみません」。言葉の最初の一字をつなぎ合わせて「オアシスタ運動」です。役場駐車場東に「オアシスタ」を立て、運動を推進してきました。

新オアシスタは高さ十メートルで、頂に町のマスコットキャラクター「アグピー」を取り付け、幅一・二メートルの側面の四力所に町内の小学生と中学生が考えたオアシスタ標語を掲げるデザインとしました。



新調したオアシスタの除幕式

インとしました。応募総数千七百二十六点の作品の中から、町長をはじめとする七人の選考委員がオアシスタ塔に掲げる次の四点を選びました。(敬称略)

『あいさつで、ここにオアシスタ』
阿久比町
矢和田 萌々(南部小一年)
『町きれい ホタルもよろこぶ オアシスタだ』
下茂 悠真(東部小二年)
『朝一番 元気におはよう あぐいっ子』
新美 元蔵(東部小四年)
『あいさつで、広がる笑顔 すてきな輪』
竹内 千尋(阿久比中二年)

七月六日には完成を記念して除幕式を行い、皆さんに新しくなったオアシスタを披露しました。

午前中に中央公民館で開かれた「社会を明るくする運動・青少年健全育成推進大会」意見発表会の中で竹内俊貴君(草木小六年)は「ぼくはこの町を「オアシスタ」で包みたい」と題し発表を行い、「オアシスタには、心をなぐさめる場所という意味もあるそうです。みんなで阿久比町をオアシスタで包み、心の温かい安心できる町にしたいです」と意見を述べました。

家庭や学校、職場などまちのあらゆる場所でオアシスタ運動を実践し、笑顔あふれるまちづくりを進めていきます。